

いちご栽培管理 (R5.8.)

(有) 丸 富

7月前半は梅雨前線の影響もあり、線降水帯などによる豪雨災害が各地で発生した。後半になって例年より遅く、梅雨明けした。梅雨明け後は猛暑が続き、高温による根傷みやタンソ病、ミドリヒメコバイ等の発生が多かった。

芽なし株、そうしん株対策

定植前に樹勢低下や肥料切れを起こすと、芽なし株やそうしん株を助長する。特に、置き肥が切れる頃から定植までの期間を、樹勢を維持したままの状態、花芽分化させる。

置き肥が切れる前から定植まで**天地の恵み 500倍**を5日毎に灌注して、樹勢維持を図る。

花芽分化促進

遠日点では窒素過多で軟弱徒長するので、花芽分化がしにくい。光合成を促進して、C/N比を高め、花芽分化を促進する。

花芽分化促進に**時を越えた贈り物 1,000倍**と**酸カル 2,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を葉面散布する。

細根維持

地温(ポット内の温度)が高温になると、土壌中の溶存酸素量が低下する。そのため、土壌中は酸欠状態になり、根の働きが低下する。

酸素供給と根の働きの向上に**Gバランス DF 5,000倍**と**サンミネーラ 10,000倍**を灌注する。

病害対策

遠日点での育苗は過湿、蒸れ、窒素過多に注意しながら、育苗管理を行う。培土や施用資材によってやり方が異なるので、自分なりに良い方法を研究する。

細胞壁を強化し、病害抵抗力の向上に**酸カル 2,000倍**と**サンミネーラ 5,000倍**を防除時に混用散布する。

害虫対策

ミドリヒメコバイ、スリップス、ダニなど害虫の発生予防に事前対応する。ハウス周辺の環境変化にも注意する。

害虫の事前対策に**バイオアウトTS 2,000~3,000倍**を防除時に混用散布する。灌注時に**バイオアウトTS 5,000~10,000倍**を混用する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	500~1,000倍
時を越えた贈り物(又は酸カル)	1,000~2,000倍
サンミネーラ	5,000~10,000倍
バイオアウトTS	2,000~3,000倍

5~7日毎に灌水する場合
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 5,000~10,000倍、天然ミネラル 2,000~3,000倍、海藻のエキス 5,000~10,000倍でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)